

CHAGALL: A LIFE OF LOVE AND ART
(シャガール: 愛と芸術の人生)

Marc Chagall

〔固有名詞〕

マルク: シャガール

P.115

【BEFORE READING 9】 省略

【WORDS】

Bella Chagall

〔固有名詞〕

ベラ: シャガール

P.116

1

私と村 (1911 年)

このシャガールによる絵は奇妙なイメージでいっぱいである。

なぜ大きな顔は緑なのだろうか？

それは誰の顔なのだろうか？

なぜシャガールは、別の牛の顔の上に小さな牛を描いたのだろうか？

少しの人々と建物が見える。

それらの中には、上下逆さまなものもある。

これらのイメージは、どこからやってくるのだろうか？

この絵の中で、シャガールはユニークで興味深い方法で彼の人生の断片を表現した。

イメージのほとんどは、彼の故郷の幼少期の記憶から創造された。

【文章構造: 完了形の受動態】

Most of the images have been created form his childhood memories of his home town.

受動態を完了形にするときは、be 動詞を過去完了形にする。

右の顔はシャガール自身である。

シャガールは、ロシア都市ヴィテプスクで 1887 年に生まれた。

彼の家族を含む、その都市に住むほとんどの人々はユダヤ人だった。

彼の家族は貧しかったが、彼は幸せな幼少期を過ごした。

1907 年、シャガールはサンクト・ペテルブルグの芸術学校へ進学した。

後の 1910 年に、ほとんどお金はないが大きな夢を抱き、彼は芸術を学ぶためにパリへ向けて出発した。

パリにいる間、彼はしばしば自分の故郷の絵を描いた。